

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の障害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

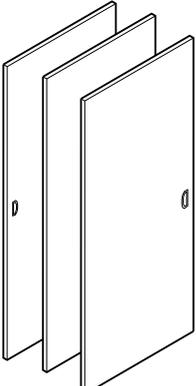
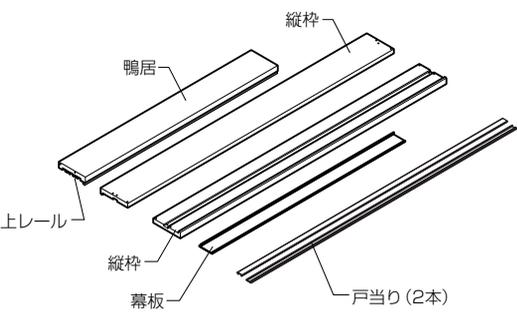
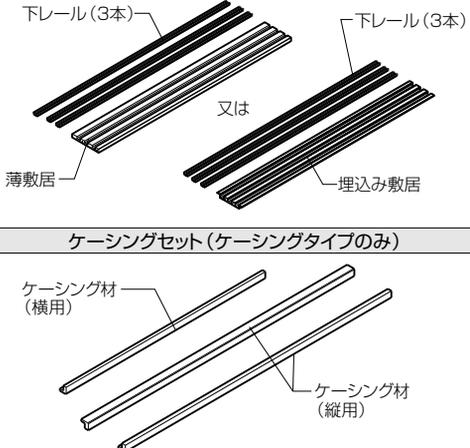
- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。
- 本体の操作は必ず引手で行ってください。手や指をはさみケガをするおそれがあります。
- 枠固定金具の調整範囲（調整幅7mm）を超える開口部については必ず柱・間柱・まぐさを入れ調整範囲を満たすようにしてください。枠・本体が脱落するおそれがあります。
- 枠固定金具が柱に固定されていることを確認してください。固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因になります。
- 本体と縦枠の上・下部のチリが均等か確認してください。調整が不十分な場合、本体が外れるおそれがあります。

■施工上のお願い

- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時には必ず接着剤を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板等の乾燥材を使用し湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。
- 他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具材の下地材は、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。縦枠と柱・間柱とのすき間は枠固定金具を調整してすき間をなくし内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合はかい木を入れてください。上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- コンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、傷付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。反り・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

押入連動引戸用本体	押入連動引戸用枠	押入連動引戸用敷居
 <p>1枚梱包X3 (左本体・中本体・右本体 各1枚)</p>	 <p>上レール 縦枠 鴨居 縦枠 幕板 戸当り(2本)</p>	 <p>下レール(3本) 薄敷居 又は 下レール(3本) 埋込み敷居</p> <p>ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)</p> <p>ケーシング材(横用) ケーシング材(縦用)</p>

■部品・部材の明細

■部品セット明細表 〔枠用〕

	皿小ねじM4X50 (上枠・縦枠 組立て用)	皿タップピンねじ φ3.5X50 (脚居駆体 取付け用)	ナベタップピンねじ φ4X40 (枠固定金具 取付け用)
1620	4	※8	6
1623	4	※8	6
2420	4	※10	6
2423	4	※10	6

※予備用4本含む

〔敷居用〕

	皿小ねじM4X50 (上枠・縦枠 組立て用)	ナベタップピンねじ φ4X40 (敷居取付け用)	戸車キャッチ	バインドテクスねじ φ3.5X19 (戸車キャッチ用)
薄下枠W16	4	-	2	2
薄下枠W24	4	-	2	2
埋込下枠W16	-	5	2	2
埋込下枠W24	-	6	2	2

※戸車キャッチの薄下枠・埋込下枠用では大きさが異なります。

〔本体用(中本体)〕

	ガイドローラー	スライドキャッチ	戸当りプレート	戸当りキャップ	ナベ小ねじM4X25 (戸当りキャップ 取付け用)	トラスタップピンねじ φ3.5X20 (戸当りプレート 取付け用)
1620	6	2	4	2	2	8
1623	6	2	4	2	2	8
2420	6	2	4	2	2	8
2423	6	2	4	2	2	8

■開口部の作り方

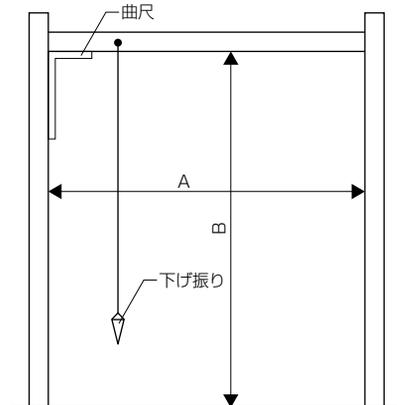
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

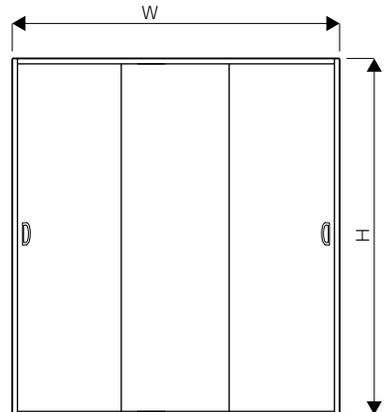
■製品寸法表 (単位: mm)

呼称	W	H
1620	1643	2035
1623	1643	2318
2420	2443	2035
2423	2443	2318

●開口寸法



●製品寸法



■床の張り方

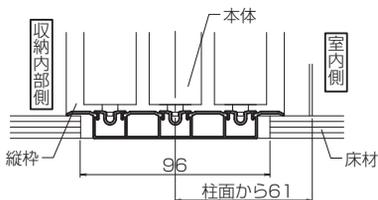
〔埋込下枠を使用(枠後付け)する場合〕

■床張り位置(床張り込み)

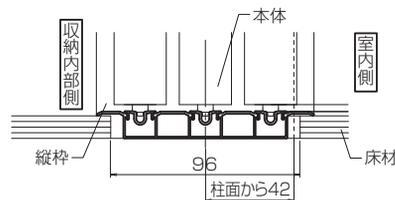
●下図の位置に96mmあけて床材を張ってください。

※ボード t=12.5 柱105mmの場合です。

〔ケーシングタイプ〕

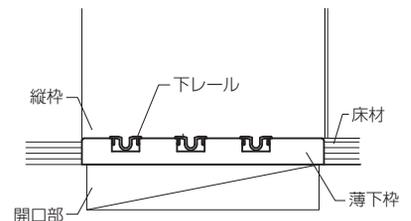


〔ノンケーシングタイプ〕



〔薄下枠を使用(枠先付け)する場合〕

●枠取付け後・縦枠・薄下枠にそって床材を張ってください。



■取付け順序

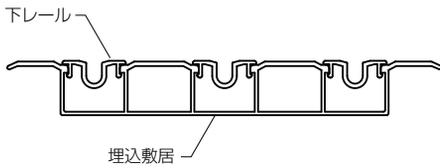
1 枠の組立て

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

※埋込敷居を使用してください。

●図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

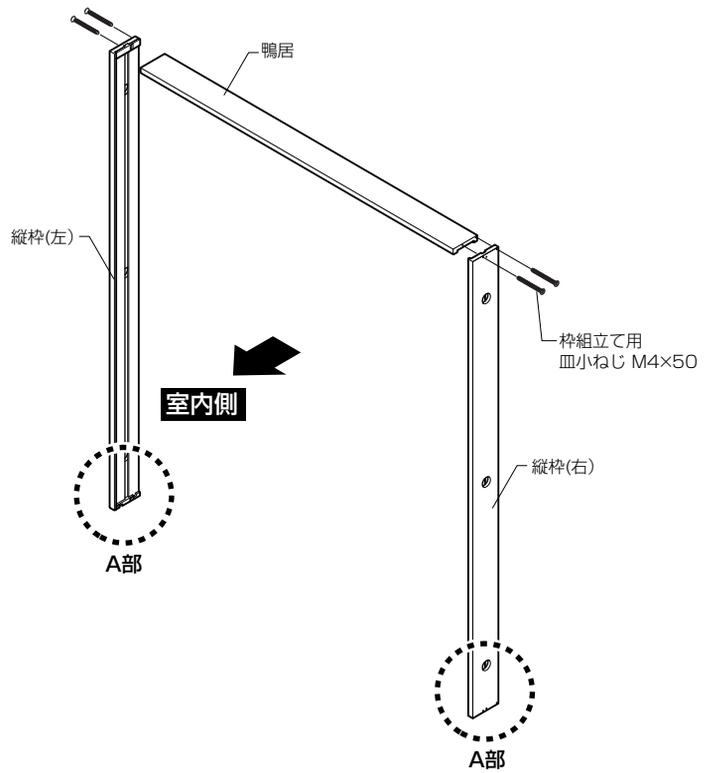
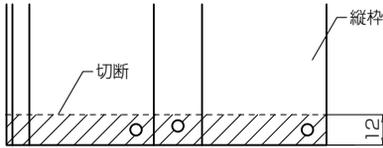
■埋込敷居



■A部詳細図

※縦枠(斜線部)を切断してください。

※縦枠下部についでいる部品を外してから切断してください。又、切断後には、この部品は不要です。

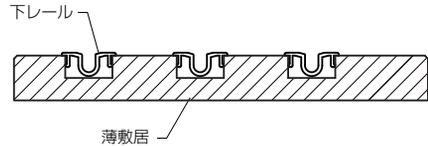


〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※薄敷居を使用してください。

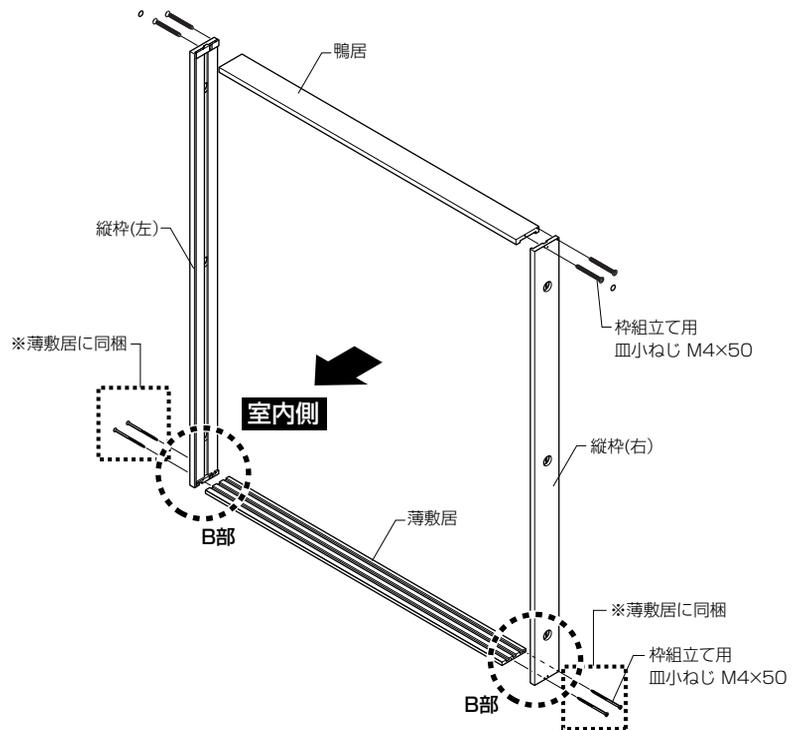
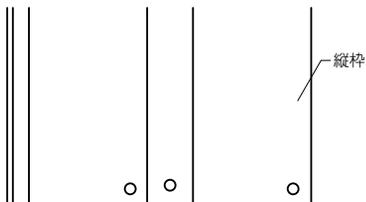
●図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

■薄敷居



■B部詳細図

※縦枠(下穴加工済み)を切断せずに使用してください。



■ 枠の取付け

① 枠固定金具の調整ねじをドライバーを使用して柱にあて、枠が垂直になるように調整してから固定ねじで固定してください。(固定後の調整も可能です。)

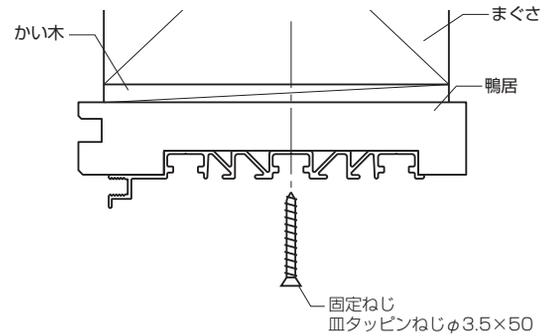
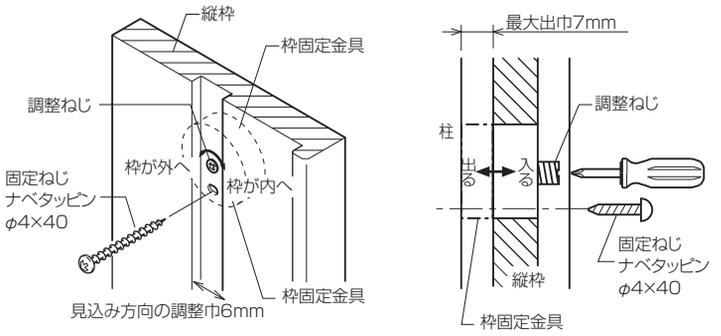
- ①-1) 縦枠に取付られている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出して下さい。
- ①-2) 枠の垂直を確認してください。
- ①-3) 固定ねじ(なべタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部分より締め付けてください。
- ①-4) 枠の奥行方向の倒れを確認してください。
倒れている場合は、固定ねじを緩め、枠を動かします。(奥行方向の調整幅は6mmです。)
調整後、ねじを固定してください。
- ①-5) 枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付けている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ①-6) 再度、枠の垂直を確認してください。

② 上枠・上レールは、かい木を入れて水平になるように調整したあと固定ねじ(皿タッピンねじφ3.5×50)で締め付けてください。

●お願い

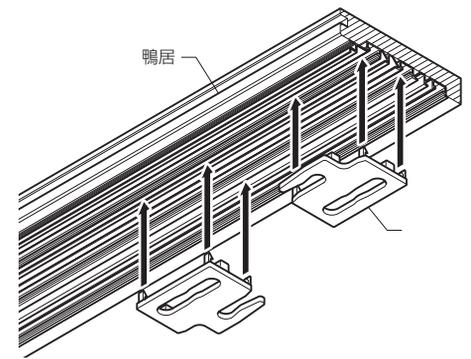
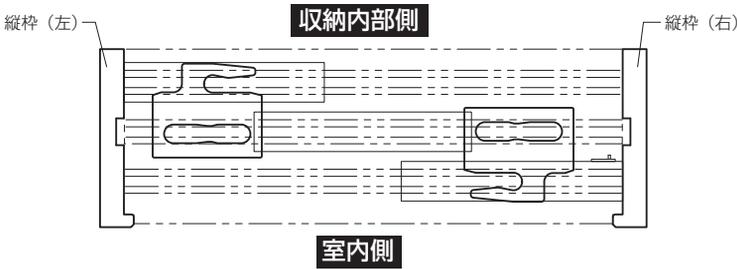
- ※ 枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※ 必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

③ 上レールにスライドキャッチを取付けます。



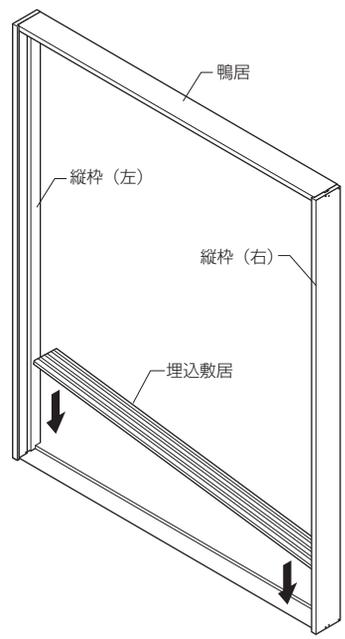
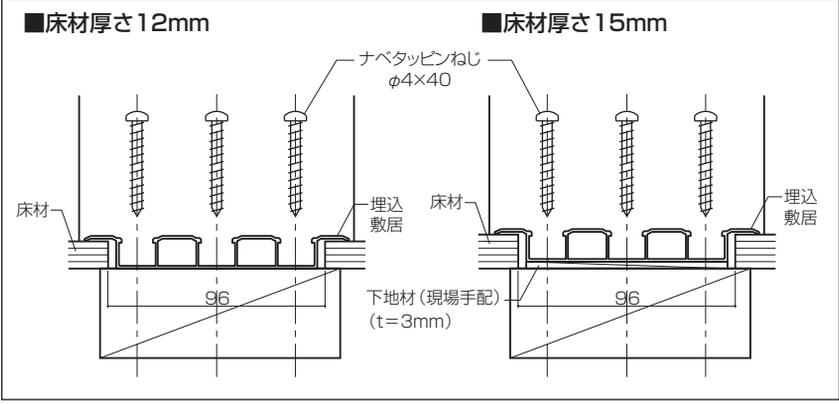
■ スライドキャッチの取付け

- 上レールにスライドキャッチを「パチン」というまで押し込みます。
- ※ 右図を参照して取付け向きの間違いのないようにしてください。
- ※ スライドキャッチが上レールをスムーズに動かすか確認してください。



【埋込敷居を使用(枠後付け)する場合】

- 埋込敷居を柱芯(建具芯)に合わせて入れ、同梱のねじで固定します。



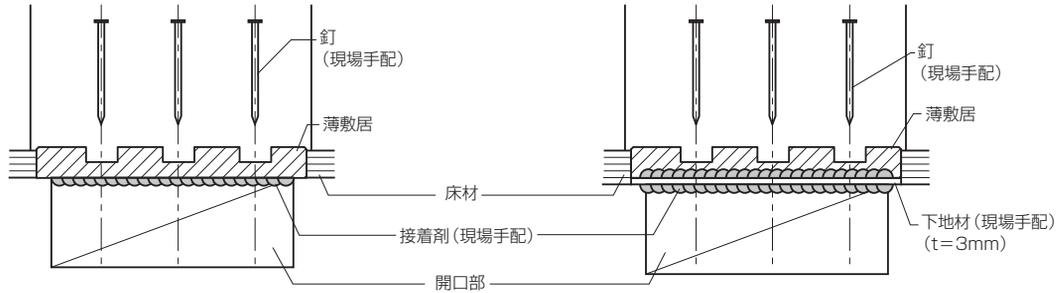
〔床後張り(枠先付け)の場合〕

■床材厚さ12mm

※必ず薄敷居に接着剤を付け、躯体に固定してください。
 ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤と併用して取り付けてください。

■床材厚さ15mm

※必ず薄敷居と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。

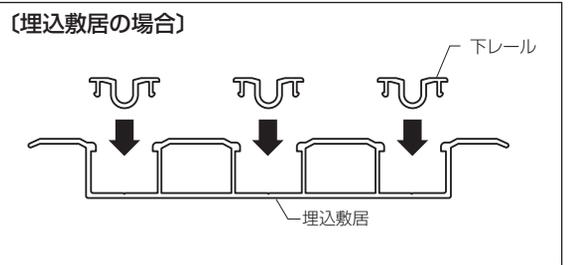
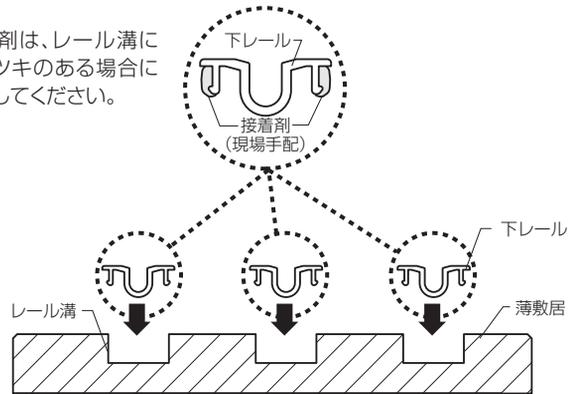
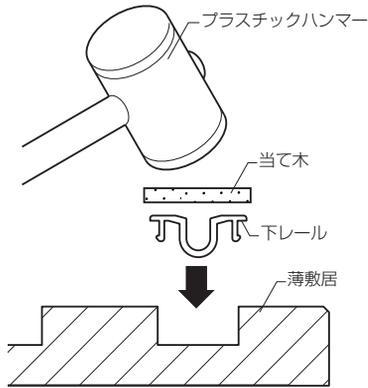


④下レールを取付けます。

■下レールの取付け

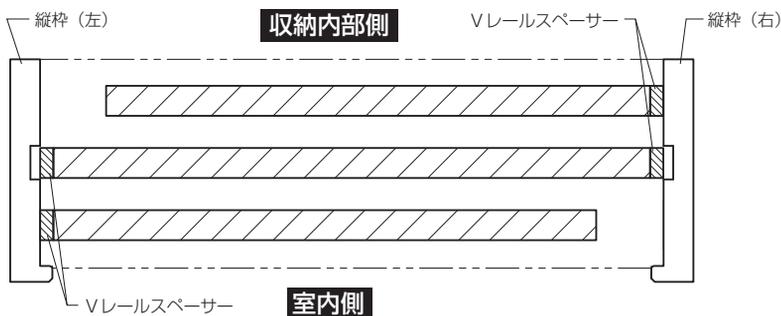
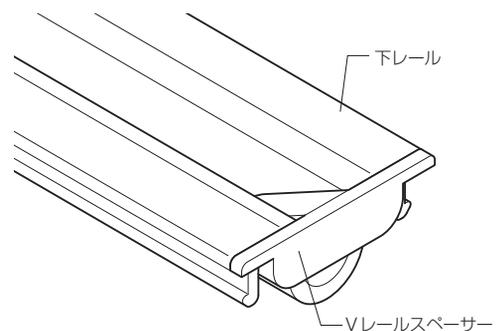
●下図のように敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

※接着剤は、レール溝にガタツキのある場合に使用してください。

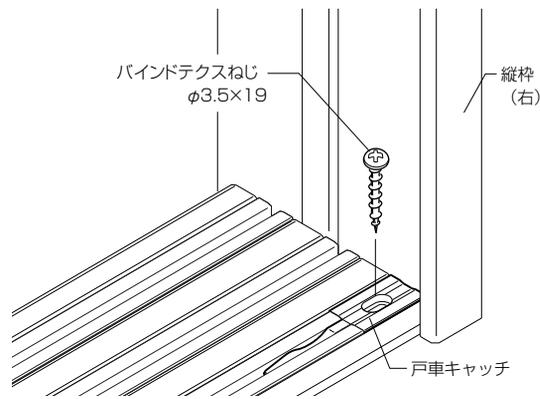


※室内側より手前の下レールは縦枠(左)に寄せ奥の下レールは縦枠(右)に寄せて取付けてください。(薄下枠・埋込下枠 共通)

※下レールの短いレール2本にはVレールスペーサーが1個ついています。(長いレールには2個) Vレールスペーサーが縦枠側にくるように下レールを取付けてください。

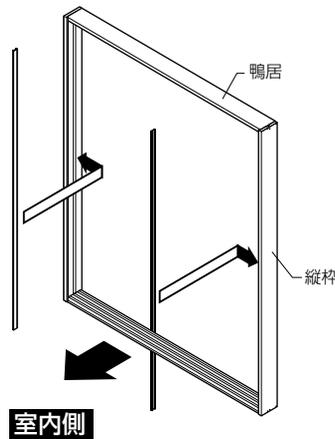
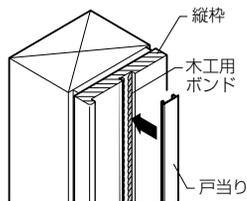


⑤レール溝に戸車キャッチ(下)を取付けます。
 ※左右縦枠側にそれぞれ1個ずつ取付けます。



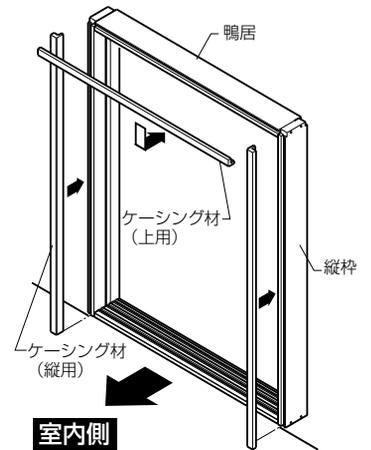
⑥戸当りを取付けます。

●戸当りに接着剤(現場手配)を溝側面に塗付して溝をふさぎます。
 ※戸当りが長い場合は無理に入れずに必要量を切詰めてください。
 ※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行うようにしてください。



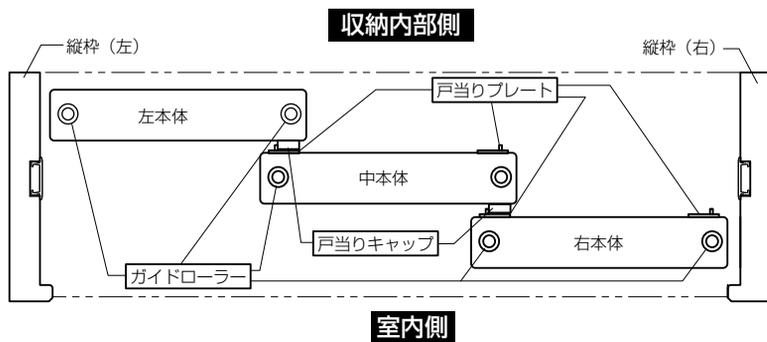
⑦ケーシングの取付け(ケーシングタイプのみ)

●壁材・床材を仕上げた後、ケーシングを取付けます。
 ①別梱包のケーシング材を現場寸法に合せて切断します。
 ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。



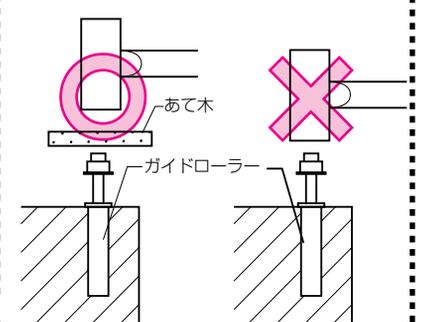
■本体の取付け

①本体へ各部品を取付けます。

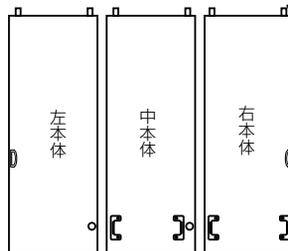


■ガイドローラーの取付け

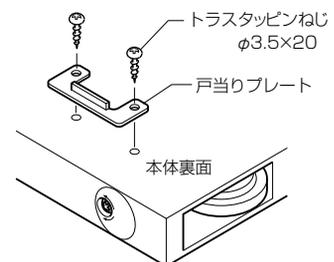
●ガイドローラーを圧入する際、樹脂部に当て木を使用してください。



■戸当りキャップの取付け(○形状部品)



■戸当りプレートの取付け(コの字形部品)

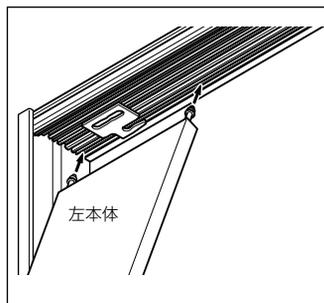


②本体を枠に吊込みます。

本体は必ず収納側本体(①)中央本体(②)室内側本体(③)の順番で吊込んでください。

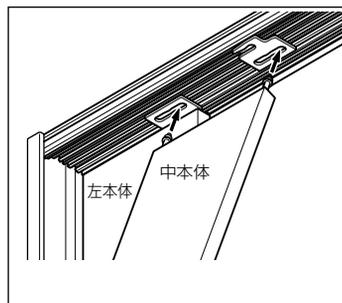
①左本体の取付け

本体を収納側レールに左側スライドキャッチをはさむようにガイドローラーをはめ込んでください。



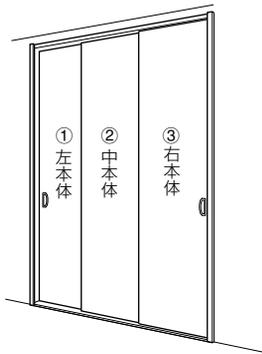
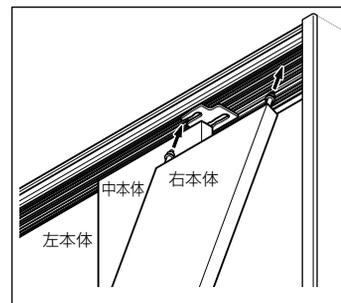
②中本体の取付け

左右のスライドキャッチの長穴に中本体のガイドローラーを差し込んでください。



③右本体の取付け

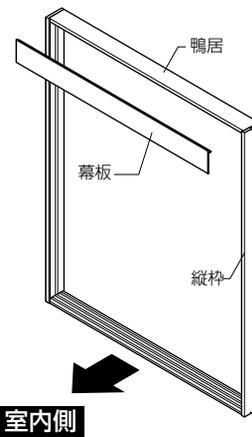
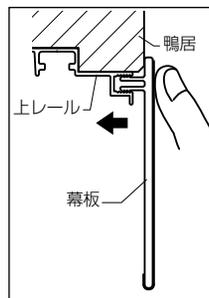
右本体を室内側レールに右側スライドキャッチをはさむようにガイドローラーをはめ込んでください。



■幕板の取付け

●取付前に必ず幕板の長さを確認して、鴨居と同寸法になっているか確認してください。長い場合は必ず同寸法になるように切断してください。上レールの溝に幕板を端から押し込み取付けます。押し込みがたい場合は幕板に当て木をしてハンマーなどでたたき込んでください。

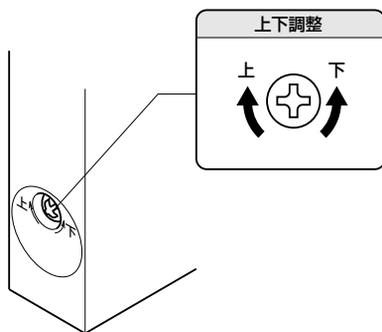
お願い
※ハンマーなどで幕板を直接たたき込まないでください。



■引戸の建付け調整

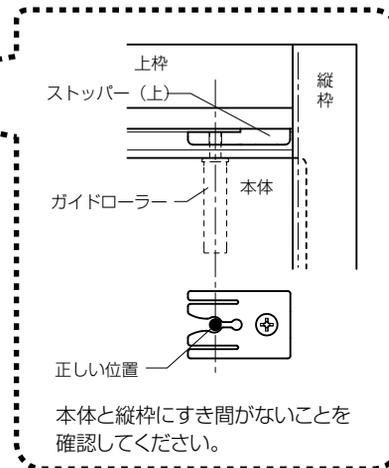
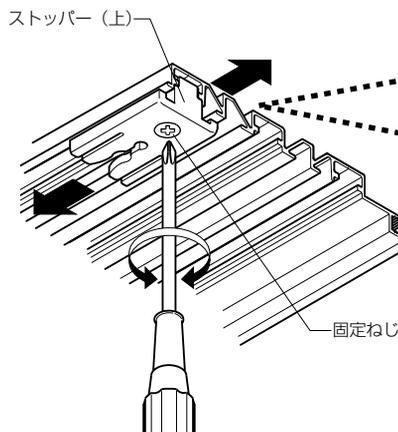
■上下調整 (調整幅+4mm, -2mm)

●本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



■ストッパーの調整

①ストッパーの固定ねじをゆるめます。
②下図のように正しい位置にストッパーを動かします。
③ストッパーの固定ねじを締めてください。

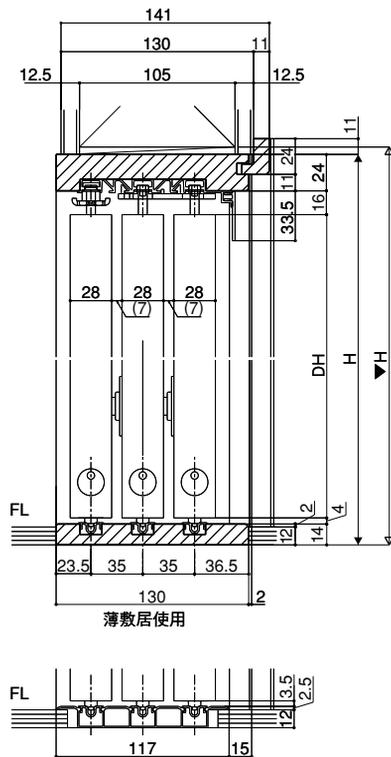


●本体の高さ調整を行ったあとにストッパーの位置を調整してください。
※ガイドローラーがストッパーの正しい位置に納まるようにしてください。

■納まり図

■クローゼット押入連動引戸ユニット ケーシング付

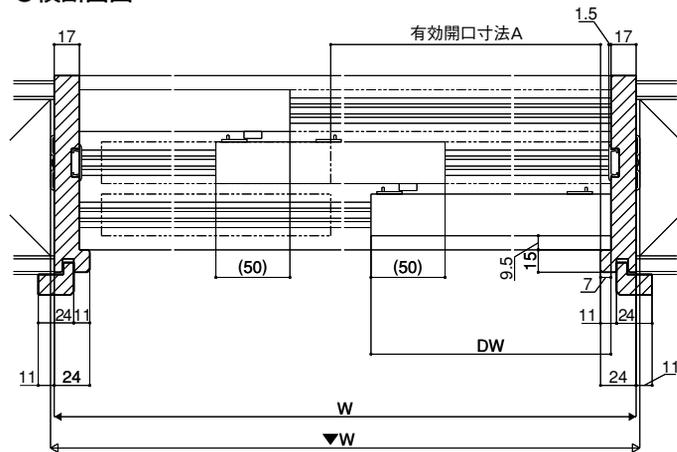
●縦断面図



薄敷居使用

埋込敷居使用

●横断面図



■押入れ引戸

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W16(1643)	942
W24(2443)	1475

基本寸法 (mm)	W呼称	16	24
	W(DW)	1643(570)	2443(837)
	H呼称	20	23
	H(DH)	2035(1977)	2318(2260)